

2025年度 事業計画書

2025年度方針

当財団の目的であるジェンダー平等社会の実現に向けて、国内外の動向を踏まえた情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行する。

当財団につながった人々の経験や知を核に、ジェンダー視点に立ったキャリア形成支援の充実、学習の充実に資するよう進めていく。また、財団のフロアも生かし、世代を超えた対話の場を生み出し、財団の目的を推進していく。

I. 「公益目的事業」＜生涯学習の振興および活性化支援事業＞

1. 研究調査

(1) 防災・減災に関する研究調査

今年度は休止とする。防災・減災とジェンダーの視点に立った月刊誌での情報提供など、当財団としてできることは引き続き行っていく。

(2) 女性の教育・学習活動史研究

「出発・再出発」をテーマに、ジェンダー平等社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや学び、実践の過程などをまとめたレポートを募集し、優秀作を表彰する。25年度は第9回未来大賞の募集を行う。

2. 人財育成

(1) キャリア人財プラットフォーム事業

女性たちが生涯にわたりジェンダーの壁を越え、自らが望む生き方（働き・暮らす）を充実させていくための支援を行っていく存在（女性のキャリア支援をジェンダー視点で支える専門職）として、キャリア支援デザイナーの養成に引き続き努めるとともに、デザイナーの活動や学び合う場を通して、社会のジェンダー格差を変えていく存在になるよう、財団として支援していく。

(2) 子育て支援者育成・次世代育成講座

子育て支援、次世代育成に携わる人を対象に、ジェンダー視点を基軸に据えた講座を開催する。

3. 情報提供

(1) 月刊『We learn』発行

本誌は、ジェンダー平等社会の実現に寄与する情報提供誌として発刊。ジェンダー視点から現代的課題を取り上げ、研究・実践の情報を提供していく。キャリア支援デザイナーをはじめ他事業と関連した情報発信を進める。

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

① ジェンダーパネルの普及

イラストを通してジェンダー課題を提示する「なるほどジェンダー」パネル、「発見！ジェンダー」パネルを貸出する。「発見！ジェンダー」リーフレットなど、学習教材として使っていただけるよう、取り組みの発信等工夫する。

② 「ひと言」パネルの作成・普及

新パネルとして作成の「未来を創るあなたへ～書で紡ぐ先人のメッセージ」の貸出を行うことで、ジェンダー平等社会に向けて背中を押すメッセージを発信していく。

③ ジェンダー・チェックツールの開発

ジェンダー・バイアスの気づきや解消に向けたチェックリスト（ツール）の開発を行う。ジェンダー・バイアスは、人々の暮らしから地域社会等にも影響を与え、再生産も引き起こし、男女賃金格差解消に向けて「説明できない格差」「見えない壁」の一つとも言われている。ジェンダー平等社会を目指す公益財団として、ジェンダー・バイアス解消に向けて使えるツールの開発を行う。

(3) 資料の整備・情報公開

① ホームページの改訂、充実

当財団事業のよりよい広報につながるよう、ホームページの改訂を行う。8月より新ホームページに移行の予定。また、フェイスブックやインスタグラム、X等のSNSを用いて、タイムリーな情報提供に努める。

② Space We learn の活用

フロアやライブラリーを活用した「ぶっく・とーく」や「芝公園ラボ」の開催等、本や人を資源とした対話・学び合いの場を創出する。

4. 関係諸団体との連携支援

(1) 日本女子会館内外団体との連携

(特非) 全国女性会館協議会、Office We learn 登録団体など女子会館内団体との

情報交換を行い、国際婦人年連絡会、(特非) 全国女性会館協議会等に加盟して、全国的・国際的な活動に参画するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行う。

また、生涯学習活動等、当財団と活動目的を共有する非営利法人に対して、継続して日本女子会館施設を低料金で提供することにより、当該法人の活動を側面的に支援する。

(2) 女性関連団体へのカンファレンスルーム「Space We learn」の提供

女性支援・生涯学習を目的とする法人や団体、財団のキャリア人財プラットフォームに関わる個人・団体等に対して、「Space We learn」を周辺相場より安価で提供し、当該団体等の活動支援を図る。

(3) シェアオフィス・バーチャルオフィス「Office We learn」の運営

女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィス事業を引き続き推進する。

女性起業家や女性研究者に活動拠点を提供すると共に、「人財プラットフォーム」事業との融合を図り、会員相互の交流、情報交換の場としての「交流会」を定期的に開催していく。

2025 年度も引き続き、会員を増やすための広報を実施するとともに、会員相互の新たな関係性を構築できるような施策を推進していく。

Ⅱ. 「収益事業」＜日本女子会館建物の賃貸事業＞

1. テナント入退去の状況

2025 年 2 月 1 日以降 6 階の 1 室が空室のまま現在に至っており、早期満室に向けて仲介業者との連携を強化していく。

既存テナントとの関係は引き続き日常的なコミュニケーションを深めながら、テナントの動向及び日本女子会館管理運営上の改善課題等に関する情報収集を進めていく。

Ⅲ. 日本女子会館の維持経営

1. 日本女子会館建物の維持管理

2024 年度より長期修繕計画(10 ヵ年計画)に基づき新たな資産取得資金積立を開始しており、計画的に営繕工事を実施していく。

当該計画以外に発生する経年劣化等に起因する建物・設備等の改修等に加えて、2027 年以降蛍光灯が製造販売禁止となるため、館内各所蛍光灯照明器具の LED 化を推進していく。